

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

第3回定期中央委員会を開催!



コロナ禍に抗して「命と生活と自由」「職場と仕事」を守り 21春闘に勝利し、組織の強化・拡大を成し遂げよう!

JR東労働組合は2月13日、高崎市労使会館において「第3回定期中央委員会」を開催しました。秋の闘いを総括し、「コロナ禍に抗して『命と生活と自由』『職場と仕事』を守り21春闘に勝利し、一切の組織破壊攻撃を打ち砕き、菅政権の失政を許さず、組織の強化・拡大を勝ち取る」ことを掲げ、第6回定期大会までの当面する課題についての意思統一を図りました。

松下中央執行委員長から①新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、「命と生活と自由」を守ることを掲げて、憲法で保障されている国民の権利を守り抜いていく闘い②「変革のスピードアップ」に立ち向かい、総合労働条件の向上と安全確立の闘い③菅政権の退陣を掲げて衆議院選挙に勝利する闘い④組織強化・拡大の闘いについて挨拶をしました。

また、今定期委員会では21春闘の要求項目①基本給一律6000円(定期昇給を含まない)の引き上げ②定期昇給(昇給係数4)を確保③40歳代社員への調整給の導入④エルダー組合員の基本賃金6000円引き上げ⑤第一基本給の廃止⑥正規・非正規や企業間格差是正を重視し、最低賃金時給1100円、最低到達月収は30歳で23万5000円、35歳で25万8000円を目指すについて執行部より提起し、満場一致で承認されました。

16名全委員からコロナ禍における職場活動と組織拡大、会社の効率化・外注化施策に抗し、社員代表戦に勝利する、憲法改悪反対・反戦平和などについて職場からの実践を基に発言がありました。

そして、鈴木書記長から①新型コロナウイルス感染症4つの重点課題を実践し「命と生活と自由」を守る闘い②職場と仕事を守り、21春闘勝利に向けた闘い③あらゆる組織破壊攻撃に立ち向かい、「ひがし労」の組織の強化・拡大の闘い④憲法改悪反対を掲げ、衆議院選挙勝利に向けた闘いことなどについて答弁しました。

「高い目標」と「対話と行動と集約」を提唱し、「抵抗とニューマニズム」を基軸に、あらゆる労働者との団結を強化し、職場と地域から広範な闘いを創造していくこと!

団結を固め、力を込めてスクラム組み、闘いの道を雄々しく進もう!